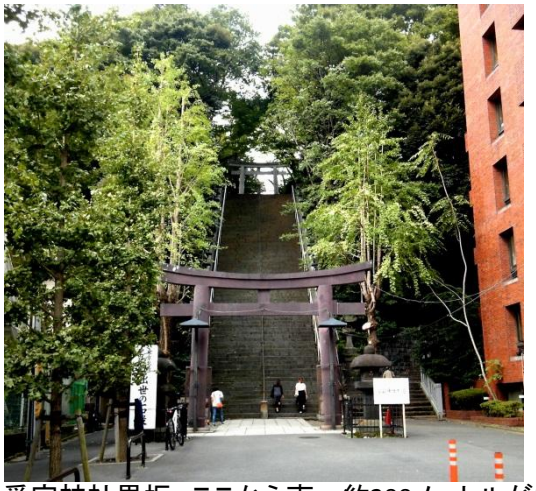
港区を歩く②　愛宕山周辺

愛宕山は、標高25.7メートル。全山（大げさ？）が緑に被われ、周辺には多くの神社仏閣があります。

今回歩いて特に感じたことは、緑が山麓ー山腹ー山頂と立体的に存在していて、周辺の道路から山頂・山腹が見えるのがいい雰囲気になっている、ということです。こうした場所は、都心では珍しいでしょう。

しかし、そのようなエリア、それほど広くはなく、隣接する東西の道路の一区間に限られます。右図の赤線のエリアです。

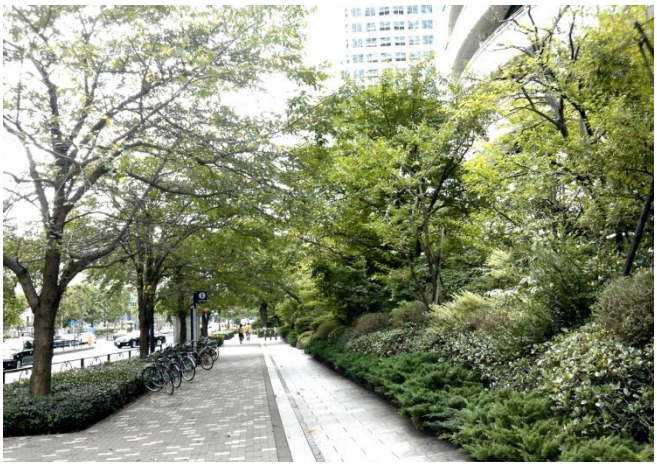
東側エリアからは山全体を見渡せます。



A　愛宕神社男坂。ここから南へ約200メートルが山頂の見えるエリア。

B　東側の道路からは、山頂・山腹を全貌できます。

C　周辺緑化も手伝って、緑のボリューム感は相当にあります。



D　青松寺、愛宕ヒルズに向かう歩道と周辺の緑化。

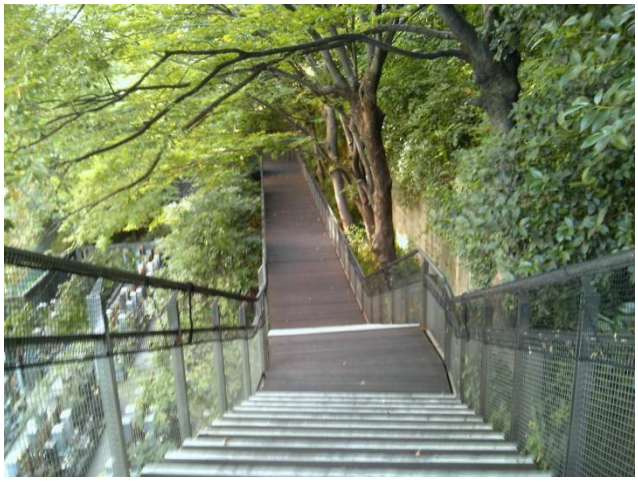
港区を歩く②　愛宕山周辺

東側エリア（御成通り）では、再開発に向けて、空き地が目立っています。再開発後も、愛宕山の緑が望めるといいですね。

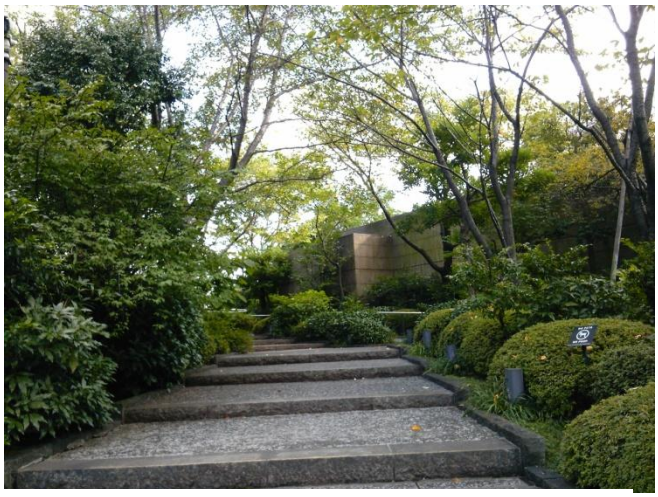
また、山腹には遊歩道が整備されています。この遊歩道を使うと、愛宕神社女坂～山頂～遊歩道～青松寺～遊歩道～芝学園下交差点までの約800メートル、10分ほどのハイキング気分が味わえます。

E　フェンスで囲われた空地が目立ちます。

F　フェンスで囲われた空地が目立ちます。



G　山腹をめぐる遊歩道。



H　愛宕山南側にある清岸院近くの遊歩道

港区を歩く②　愛宕山周辺

西側からは、部分的ですが、愛宕山が望めます。

このエリアには、多くの寺院が立地しています。
かつては、戦災をのがれた古くからの木造建築が数多く残っていましたが、そうした木造建築も老朽化し、再開発に向け空き家や空き地が目立ちます。

微かではあっても昔の雰囲気を感じられる、今が最後のチャンスです。

撮影日：2014年10月2日、10月7日

I　再開発のための空き地が目立ちます。

J　寺院の奥が愛宕山。後は愛宕ヒルズ。

K　商店の奥が愛宕山。

L　とても雰囲気のある建物。こうした建物は今や絶滅寸前。場所は非公表にします。